



2学期は、大きな行事がたくさんありました。開会式を始めたらすぐに空からぼちぼちと雨粒が落ちはじめ、実施の続行に悩まされた運動会。お客さんに楽しんでもらうためにどんなお店を出したらいいか話し合ってたくさんの売り物を作って大盛況だったおみせやさんごっこ。コツコツと準備をし、何度も練習をして迎えたお楽しみ会。その間にもいろいろな作物を育てたり、トロッコ公園を歩いたり、山村短大にご招待されたり、臼と杵でお餅をついて鏡餅を作ったり、本当に盛りだくさんの4か月でした。夏のコロナ禍の中で行われたオリンピックが遠い昔のように感じます。

さて、明日から冬休み。今日担任の先生からもらった「かがやく子」に子供たち一人一人の成長の様子が書かれていることと思います。今日は、本当によくがんばった子供たちをたくさん褒めてください。それが、何よりのクリスマスのプレゼントの一つになると思います。

サンタさんがいっぱいー



教師冥利 —2学期をふり返って—

鳩山幼稚園長 岡部 玲子

職員室では、夏休みから始まった運動会への取組の準備。9月には運動会の練習が始まりました。よりかわいくより楽しくより揃って踊れるように練習した年少のダンス。出来たことを褒め、緩んできたら引き締め、技の成功やきびきびとした動き、新しいものに挑戦した年長の組み立て表現。練習過程では時には優しく時には厳しく、少しでも良いものを来園した皆さんに見せたいと、全力以上120%でがんばった汗と涙の運動会。

11月には、平成30年改訂の文科省から出された幼稚園指導要領の目玉である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」の多くを網羅した“おみせやさんごっこ”。小学校の生活科を思わせる取組を見せてくれました。

12月は何とんでもお楽しみ会(発表会)一色でした。にじ組はシナリオ作りから子供たちと一緒に取組み出来上がった劇でした。(私は個人的に、小学校の国語の授業を思い出し、少々うずうずしてしまいました。)子供たちが大好きな作品をもとにただけあって劇中の長いセリフもしっかり覚え、表情も工夫し演じることが出来ました。さくら組もそれぞれの子供たちがオペレッタで初めて役を演じることに喜びを感じ、役の気持ちを考えて(緊張しながらも)表情をつけることさえ出来ていました。

そして、終わった後にはいつも子供たちの“がんばり”への教師の涙がありました。一つ一つの行事を通して、大きく成長していく子供たちの姿を感じる事が、それまでの多くの困難があるからこそその教育に携わる者にとっての喜び“教師冥利”ではないかと改めて思いました。(そんな先生方の姿を見られることも私にとっての園長冥利の一つです。)

<冬休み読書(読み聞かせ)のお願い>

昨日(23日)に本の貸出をしました。以前にも連絡しましたが幼稚園では(紙の)絵本を読むことを大切にしたいと考えています。親子での読み聞かせについてもその大切さを述べてきました。考えてみると子供と一緒に本を読む時期は幼稚園のこの時期くらいしかないように思います。

年長組はもうすぐ小学校に入ります。幼稚園で担任が子供たちに読んであげていたように、小学校でも読み聞かせ自体は、ボランティアさんなどが定期的に行ってくれていると思います。でも、小学校できちんと文字を覚え(既に一人で読めるようになってきている子供もいますが)当然一人での読書へと移行します。そうすると家庭内での読み聞かせは、おそらくもうほとんど必要なくなると思います。そう考えると、幼稚園のこの時期と一緒に読むのに一番良い時期は今ではないでしょうか。

＊＊それでは、良い年をお迎えください。

来年の1月11日にまた会いましょう。＊＊

<12月>ピジョっこフォト



にじ組劇 パンどろぼうリハーサル

そここのところは……、



さくら組リハーサル



きたかぜとたいようリハーサル



<お楽しみ会>

12月18日(土)を目指してたくさん練習してきました。そして迎えた当日……!

<お楽しみ会本番>



ひよこ組のうた

パンダうさぎコアラ(^.^)
パンダうさぎコアラ(^.^)



さくら組 オペレッタ「きたかぜとたいよう」



フィナーレ

<ミニうん蓄>「北風と太陽」は数々あるイソップ寓話の一つですが、調べてみたら、イソップは人の名前でした。グリム童話やアンデルセン童話というのと同じことになります。機会があったら、ぜひ読んであげてください。イソップは古代ギリシアの寓話作家だそうです。現在、イソップ童話と言われているもの全てがイソップのものではなく、それ以前から伝承されている民話なども含まれているそうです。イソップ物語にはよく知られているものに「アリとキリギリス」「王様の耳はロバの耳」「田舎のネズミと町のネズミ」「オオカミ少年」「ロバを売りに行く親子」「ウサギとカメ」などがあります。教訓的なお話が多いです。お話の内容によっては、ちょっと残酷と感じるような結末のものもありますが、時には出来るだけ原作に近いものを読んであげるのも大切だと思います。



にじ組劇「パンどろぼう」

まぎい!



「いらっしやいませー。いらっしやいませー。」

美味しいパンを売ってますよー



<名付けて

事情に注目

ガフッ!

おとり作戦>

ギャー!

<もちつきたいかい>

<12月22日(水)>



つく前の準備



今年も「かがみもち」を作りました。



<ピジョっこ栽培通信>

餅つき大会の後、幼稚園の農園でとれた栽培物(秋ジャガイモ、サトイモ、長ネギ、ポップコーン用のトウモロコシ、ピーズ)を、食育教育の一環として、保護者の皆さんに配りました。ご賞味いただき、21日に配布したお知らせにあります、「ひとこと感想欄」にご記入いただき提出してもらえると嬉しいです。また、一人一鉢のパンジーの世話をよろしく願います。園に持ってきてもらう日については、来学期お知らせします。



来年に向けてソラマメの植替えをしました。

12月 さくら組